

一般質問 通告一覧

1 佐川 京子 議員 3月3日(火) 質問予定

質 問 事 項 ・ 要 旨

1. 施政方針について

- (1) 2月8日の衆議院選挙において自民党が歴史的な大勝をし、盤石な高市政権が誕生しました。その過去最強の政権に期待し望むことと、懸念することについて、市長の見解、認識をお伺いします。

2. 複合施設について

- (1) 複合施設における生涯学習センターの利用者負担について、できるだけ安価とし、利用促進を図るようにはどうか。

一般質問 通告一覧

2 植村 美洋 議員 3月3日(火) 質問予定

質 問 事 項 ・ 要 旨
<p>1. 産業振興と行政改革及びデジタル機器の使い方</p> <p>(1) 現在、DX（デジタルトランスフォーメーション）という、AIなどのデジタル技術を用いた業務の改善や新たなビジネスモデルの創出ということが注目されているが、市ではどのようにこのDXを活用して産業の振興を行うのか、市長の考えを伺う。</p> <p>(2) 行政改革においても、DXは業務改善への効果が期待できると思うが、今後市はDXをどのように活用していく考えなのか。また、社会の中でAIが急速に拡大・浸透する一方で様々な問題も発生しているが、この問題にはどのように対処していくのか、市の考えを伺う。</p> <p>(3) SNSの普及によってさまざまな問題が発生しているが、学校現場においてはこの問題に対してはどのように対処していくのか、市の考えを伺う。</p> <p>2. 空き家対策</p> <p>(1) 現在、白河市内の空き家数はどのくらいあるのか。また、それらの空き家について所有者を把握しているのか伺う。</p> <p>(2) 所有者の把握対策についてはどのように考えているのか伺う。</p> <p>(3) 特定空家化を防ぐためには、解体費用に対する補助金の増額などの対策が必要と思われるが、考えを伺う。</p> <p>(4) 解体された残置物をクリーンセンターで受け入れる基準を柔軟にするなどの対策も必要と思われるが、考えを伺う。</p> <p>3. 子供支援</p> <p>(1) 市内のこども食堂の活動状況について伺う。</p> <p>(2) 物価高騰が大きな問題となっている現況において、こども食堂の活動に対する支援をもっと手厚くする必要があると思われるが、市の考えを伺う。</p> <p>4. 文化振興</p> <p>(1) 築33年を迎え老朽化してきた中山義秀記念文学館の一部改修が必要と思われるが、市の考えを伺う。</p> <p>(2) 中山義秀記念文学館の展示は開館以来ほとんどリニューアルされていない。来館者を増加させるためにも展示のリニューアルが必要と思われるが、市の考えを伺う。</p>

一般質問 通告一覧

3 室井 伸一 議員 3月3日(火) 質問予定

質 問 事 項 ・ 要 旨
<p>1. 環境について (1) ごみ削減について伺う。</p> <p>2. 防災について (1) 激甚化する自然災害に対応するための気象防災アドバイザーについて伺う。</p> <p>3. 学校の給食費について (1) 国による小学校給食費の抜本的負担軽減（いわゆる給食無償化）について伺う。 (2) 本市の小学校の給食の状況について伺う。 (3) 令和8年度の本市の小学生の給食費に対する保護者負担について伺う。 (4) 令和8年度の本市の中学生の給食費に対する保護者負担について伺う。</p> <p>4. 子育て支援について (1) 職場も家庭も脱ワンオペ社会で協力していく共育プロジェクトについて伺う。</p> <p>5. 介護について (1) 有償ボランティア「スケッター」について伺う。</p> <p>6. 聞き取り困難症（LiD）・聴覚情報処理障害（APD）について (1) 社会的認知度を高めるため、広く市民に周知をすることについて伺う。 (2) 学校での対応について伺う。</p>

一般質問 通告一覧

4 戸倉 宏一 議員 3月3日(火) 質問予定

質 問 事 項 ・ 要 旨
<p>1. 本市医療構想について (1) 市民が安心して暮らすことができる地域医療体制について、市長の考えを伺う。</p> <p>2. 総合防災対策 (1) 消防団施設整備事業 ①全国的に山火事が後を絶たない。本市の林野火災の現状と、消防団の装備状況について伺う。</p>

一般質問 通告一覧

5 遠藤 公彦 議員 3月3日（火）質問予定

質 問 事 項 ・ 要 旨
<p>1. 自治体 DX について</p> <p>(1) 本市のDX（デジタルトランスフォーメーション）の取り組みについて</p> <p>①「白河市 DX 推進方針」の期間が令和7年度末までとなっていますが、これまで実施してきた主な内容とその成果、課題について伺います。</p> <p>②人口減少をはじめ、多くの社会問題や多様化する市民ニーズに対応して、持続可能な行政サービスを提供していくために、市は今後、自治体 DX をどのように推進していくのか伺います。</p> <p>2. 防災について</p> <p>(1) 災害時の車中泊避難について</p> <p>①災害時に車中泊避難を選択しなければならない方の理由について、市はどのような認識をしているか伺います。</p> <p>②本市において、車中泊避難所を設置し「車中泊避難ガイドブック」を作成するとともに、「保存版白河市防災マップ」に車中泊避難所を新たに記載するべきと考えるが市の見解を伺います。</p> <p>3. 消費者被害について</p> <p>(1) 高齢者の消費者被害について</p> <p>①本市において、高齢者の消費者被害の（電話勧誘販売や訪問販売・ネット通販等）状況について伺います。</p> <p>(2) 消費者安全確保地域協議会（見守りネットワーク）について</p> <p>①消費者庁の消費者安全法により、高齢者や障害者、認知症の方々を消費者被害から守るため、地方公共団体及び地域の関係者が連携して見守り活動を行う「消費者安全確保地域協議会（見守りネットワーク）」を設置できることが規定されていることから、本市にも「消費者安全確保地域協議会（見守りネットワーク）」の設置が必要と考えますが、市の見解を伺います。</p>

一般質問 通告一覧

6 佐川 琴次 議員 3月4日(水) 質問予定

質 問 事 項 ・ 要 旨
<p>1. 観光行政について</p> <p>(1) ふくしまデスティネーションキャンペーンが、4月1日から6月30日の3カ月間、県内全域で開催されるが、JR や県及び県南9市町村の連携した取組さらには白河市独自の具体的な取組について一括して伺う。</p> <p>2. 自殺対策について</p> <p>(1) 全国的に若い世代の自殺者が増加傾向にあるが、白河市として若い世代を含めた全世代について、どのように自殺対策に取り組んでいるのか伺う。</p> <p>3. 中小企業、個人事業主の事業承継支援について</p> <p>(1) ここ1年で、飲食店、衣料店、金物店等の店が、後継者不足や売上低迷などの事情により、廃業する店が増えている。</p> <p>廃業が増えると、街の経済力が落ちてしまう。事業承継に特化した支援を白河市と商工会議所、商工会が連携してできないか伺う。</p>

一般質問 通告一覧

7 高橋 光雄 議員 3月4日(水) 質問予定

質 問 事 項 ・ 要 旨
<p>1. 企業誘致の方針と人手不足対策について</p> <p>(1) 企業誘致の方針について伺う。</p> <p>(2) 人手不足対策について伺う。</p> <p>2. 空き家対策、土地活用、住宅取得の包括的支援策について</p> <p>(1) 老朽・不良空き家の解消と安全なまちづくりについて伺う。</p> <p>(2) 立地適正化計画区域の「街なか居住区域」における低未利用土地(空き地)の活用促進について伺う。</p> <p>(3) 街なかの居住を推進するための住宅取得支援について伺う。</p>

一般質問 通告一覧

8 大竹 功一 議員 3月4日(水) 質問予定

質 問 事 項 ・ 要 旨
<p>1. 保健福祉行政について</p> <p>(1) 高齢者支援の現状等について</p> <p>① 独り暮らしの高齢者にもしものことが発生した場合の対応について、現在どのような対策がとられているのか伺う。</p> <p>② 市内の新聞販売店や宅配業者など、家庭を訪問する事業者との協力・連携についてはどのようなになっているのか伺う。</p> <p>(2) 健康ポイント事業による健康寿命の延伸について</p> <p>① 健康ポイント事業の内容と市民の利用状況について伺う。</p> <p>② 健康寿命を延ばすために、健康ポイント事業を今後どのように進めていく考えなのか伺う。</p>

令和8年3月定例会

一般質問 通告一覧

9 菅原 修一 議員 3月4日(水) 質問予定

質 問 事 項 ・ 要 旨
<p>1. スポーツ施設の整備について</p> <p>(1) しらさかの森スポーツ公園について</p> <p>① グリーンスタジアムの電光掲示板化及びグラウンドの改修について伺う。</p> <p>② 公園内屋外トイレの洋式化及び下水道への接続について伺う。</p> <p>③ 多目的グラウンドのサッカーゴールの増設について伺う。</p> <p>(2) スケートボード場の設置について</p> <p>① オリンピック種目になっており、中・高校生を中心に強い要望があるスケートボード場の設置について伺う。</p> <p>(3) 人工芝グラウンドについて</p> <p>① 施設の概要について伺う。</p> <p>② 設置場所の選定について伺う。</p> <p>2. 公共施設へのトイレ設置について</p> <p>(1) 小峰城三重櫓、駐車場への設置について伺う。</p> <p>(2) JR 白坂駅への設置について伺う。</p> <p>(3) 境の明神ポケットパークへの設置について伺う。</p>

一般質問 通告一覧

10 柴原 隆夫 議員 3月5日(木) 質問予定

質問事項・要旨

1. 人口減少の起因である「自然減」「低出生率」「社会減」について

白河明誠にお世話になり、本年2月2日、3日と滋賀県大津市唐崎で開催された熊本大学 金岡教授の研修セミナー「人口減少社会における地域の課題」を受講しました。この研修での学習をベースに質問いたします。

熊本県八代市・菊池市は人口減少が大きな地域課題となっております。両市が人口減少の課題に取り組む「きっかけ」となりましたのは、将来的に消滅する可能性が高い「消滅可能性自治体」一ふるさとの消滅一でした。だが、両市とも「消滅可能性自治体」のリストには入っておりません。

本市と同様に、これまで両市は人口減少対策に様々な施策を行っております。しかし、人口流出対策、少子化対策に余り成果が得られず、空き家・空き店舗、中心市街地の空洞化、担い手不足等、人口減少がもたらす様々な地域課題が年々深刻になってきました。このまま人口減少が進行すれば自分達の「ふるさと」が、消滅する可能性が高いという「消滅可能性自治体」の予測に危機感を持ち、熊本大学と連携して両市が主催する「未来創造塾」が立ち上がりました。今この「未来創造塾」は全国に広がり始めております。

(1) 「低出生率」について

人口減少は、死亡者が出生率を上回る「自然減」、転出者が転入者を上回る「社会減」、「低出生率」を起因として進行しております。白河市の子供(0歳～14歳)の数は急速に減少しており、令和2年は9159人、令和6年は7876人と、わずか4年で14.0%減少し、急速に少子化が進んでおります。特に、0歳～5歳の未就学児の減少率が20%を超える深刻さとなっております。

また、総人口の推移としては、合併直後の2006年1月の人口6万6087人から2025年1月の人口は5万6200人となり、約1万人が減少しております。

人口減少は「ゆるやかな有事」から、より「緊急有事」に近づきつつあります。本市は、人口戦略会議が公表する将来的に消滅する可能性が高い「消滅可能性自治体」のリストに入っております。強い衝撃を受けております。

「消滅可能性自治体」とは、2020年から2050年までの30年間で、子供を産む年齢層の20代～30代の若年女性が50%以上減少することが予想される自治体を指します。

次に述べる「社会減」の起因となっている若年層の首都圏への人口移動は、「低出生率」に拍車をかけております。

八代市、菊池市が人口減少の課題に取り組む「きっかけ」は、将来的に消滅する可能性が高い「消滅可能性自治体」一ふるさとの消滅一でした。

①本市が、子供を産む若年齢層の20代～30代の若年女性が50%以上減少することが予想される「消滅可能性自治体」であることをどのように受け止めておられるのでしょうか。

また、広く知恵を求め、「消滅可能性自治体」への対応を探ることが必要かと思いますが、いかがでしょうか。

②2006年2月1日と2026年2月1日現在の子供を産む年齢層の20代～30代の若年女性の人口は、どのようになっているのでしょうか。

(2)「社会減」について

人口減少の起因となっている若年齢層の進学、就職による主に東京圏への人口流出が続いております。本市は、若者が戻って来てくれる環境づくりや転入を促す様々な施策を講じております。

上述しました地方から若年齢層の首都圏への人口移動が少子化に大いに拍車をかけております。

①高校生に将来戻ってきたいと思わせる意識づけについて

市長は、毎年「二十歳の集い」の主催者あいさつで、皆さんが戻ってきやすい環境を整えておきますので「是非、戻ってきてください」と、成人者へメッセージを送っております。このメッセージは全てを物語っております。

八代市、菊池市は、若者の流出が少子化の大きな原因となっていることから、熊本大学と連携して創設した「未来創造塾」の主な取組は、大都市へ流出した若者が「戻って来てくれる」環境づくりです。

若者、高校生に将来戻ってきたいと思わせる意識づけ、これまでのUターンを促す施策を検証し、八代市、菊池市の「未来創造塾」ように、新たな環境づくりの施策を探ることが必要かと考えますが、いかがでしょうか。

②学校給食における、第3子以降の給食費負担軽減とはどのようなものなのでしょうか。

③保育所等における、第3子以降の保育料軽減とはどのようなものなのでしょうか。

④保育所入所ですが、第1希望への入所割合はどのようになっているのでしょうか。また、待機児童はどうでしょうか。

2. 分譲住宅団地（みさか・緑ヶ丘団地・南湖ニュータウン等）の高齢化対策として公共・生活サービスを維持するための何らかの取組について

社会変化に伴い古来の日本文化であった「家を継ぐ」という「跡取りの慣習」が薄らいでしまいました。以前は年寄り、子供と親の家族構成が一般的でした。だが、子供が成長すると、親元を離れ自分自身の家族単位を形成するようになりました。特に「長男は家を継ぐ」、将来は「親の面倒を見る」という慣習が消えてきました。

自分の周囲を見回しても以前の家族構成となっている世帯は皆無に近く、高齢者世帯が増加し、更に、これが進行し高齢者世帯、空き家となり大きな地域課題となってきました。

あの大きな分譲住宅（みさか・緑ヶ丘団地・南湖ニュータウン等）団地には医療機関、買い物をする店舗などの、公共・生活サービスがありません。かつての子育て層は高齢者となり、また、車の運転は可能ですが、まもなく運転が難しくなることが予想されます。

山を切り崩して造成していることから市街地は遠方で、出入り口は急な傾斜となっている1本道だけです。

(1) 大きな分譲地団地（みさか団地・緑ヶ丘団地・南湖ニュータウン等）の高齢世帯の進行状況を把握する計画や、近い将来、車の運転が出来なくなった場合「生活（買い物等）難民」が起きうる課題への対応はどのように考えているのでしょうか。

また、それらの地域課題への対応として何らかの取り組みが必要かと思われますいかがでしょうか。

3. 移動投票所及び投票立会人について

気候変動に伴い夏は猛暑、冬は大雪、寒い時期に選挙が行われております。夏は暑さで、冬は積雪、寒さにさらされる選挙は一般の方でも苦勞します。高齢者や身体に不自由な方は、投票所へ足を向けることが相当難しいと思われまます。

(1) 今回の衆議院総選挙で移動投票は行われたのでしょうか。

行われたとすればどのように行われたのでしょうか

(2) 投票立会人は、高齢者でほぼ固定された方です。選挙権は18歳に達した高校生にもあります。若者に選挙の様子を知ってもらうことは大切です。このことから、高校生、短大生、専門学校生、大学生を投票立会人をお願いしている自治体が出てきております。また、投票立会人は、長時間となることから高校生等の場合は交代制を入れることが必要かと思われまます。が、いかがでしょうか。

一般質問 通告一覧

11 深谷 弘 議員 3月5日(木) 質問予定

質 問 事 項 ・ 要 旨
<p>1. 施政方針</p> <p>(1) 情勢認識について</p> <p>(2) 国の「責任ある積極財政」と国民の暮らし、地方財政への影響について</p> <p>2. 健康・福祉・医療プロジェクト</p> <p>(1) 給食費負担軽減事業</p> <p>①小学校給食費の実質無償化について</p> <p>ア. 令和6年度の食材高騰分の3分の2を市が負担したが、財源は一般財源か。</p> <p>イ. 国からの新たな負担軽減措置に係る財源は、どのような形で市に入るのか。</p> <p>②中学校給食費の無償化について</p> <p>ア. 中学校の保護者負担をなくす（無償化）ために必要な財源はどのくらいになるか。</p> <p>(2) こども誰でも通園制度の創設及びその対応について</p> <p>①こども誰でも通園事業の概要について</p> <p>ア. この間（令和6年、令和7年）実施の「こども誰でも通園事業」について</p> <p>イ. 令和8年4月からの本格実施においては、本市と国の基準を比べるとどうなるのか。</p> <p>ウ. こども誰でも通園制度の、現場（実施主体）の受け止めと今後の事業について</p> <p>3. 都市基盤プロジェクト</p> <p>(1) 定率タクシー支援事業</p> <p>①実証実験の結果について</p> <p>②事業概要について</p>